三重混声合唱団
あんだぁれ70

三重混声合唱団あんだぁれ70通信
2022年度　春夏号
2022年7月30日　発行
発行;三重混声合唱団あんだぁれ70
編集;広報担当（平井,小泉,田中,牧野）
ホームページ;https://andare70.jp

創立 10 周年記念演奏会大成功

新型コロナのオミクロン株は流行の第7波に入ったと言われる昨今ですが、コロナの中、あんだぁれは創立10周年記念演奏会実施を計画し、作曲家の石若雅弥先生をお招きし、ワンステージメンバーにも加わっていただいた演奏会を成功させました。一面、課題も見えてきた演奏会でした。（編集部:平井）

10 周年記念演奏会を振り返って

三重混声合唱団あんだぁれ 70
音楽監督・指揮　馬場浩子先生

コロナ禍という時世にも関わらず、多くの人を巻き込んでの演奏会を開催できたことは、大変意義深かったと思います。あんだぁれとしての準備が十分だったかということは、課題を残したと思いますが、この 2 年半に何度も練習が止まり、また休団する人も多くあんだぁれ 70 があんだぁれ 50 に減りはしたものの、歌への情熱や仲間と集うことを辞めようとしなかった皆さんの想いが、この演奏会大成功‼ の一番の原動力になったと思います。

今回、5 周年でもお世話になった石若先生をお招きできたこと、また周年記念として新たな編曲をつけてくださり、楽譜まで出版されたことなど音楽文化の普及にも、いくらかは貢献できたように感じています。

ワンステメンバーとのコラボや、三重大合唱団とのご縁もあんだぁれのオープンな心持ちの賜ですね。今後も広い視野と包容力溢れるあんだぁれ気質が健在である限り、団として進化しつづけることを確信しています。貴重な男性 3 名と女性 2 名の新入団員や復団の方をお迎えできたことも、大きな刺激となりましょう。

問題は 1 つ、高齢化とどう向き合っていくか…。

年齢が高くなっていくにつれ、目も耳も少しづつ不自由さが出てきます。リズムや音程等の基礎力も段々衰え(😊)、集中力の持続や暗譜ができない苦しさ等様々なハードルが待ち受けております。でも、そんなことは気にせずに‼ まずは 11 年目に突入したあんだぁれ 70が年齢に捉われることなく、常に若々しい精神とバイタリティーを維持できれば、あんだぁれらしい活動は変わることなく続いていくことでしょう。

これからも楽しく！ 大胆に！ なんでもやってやろう精神で弾けちゃってください💖

10 周年記念演奏会を振り返って

代表　神田憲明

創立10周年記念演奏会が終わり、この 2 年越しの計画が無事盛況に終わったことは喜ばしい限りです。多くの方々からご協力を得られたことに感謝しております。入場者数は450人で発行チケット数の83%という結果でした。コロナ禍の中、非常に多くのお客様が来て下さり創立10周年という演奏会開催が成功に終わったことは、これまでの私達の活動の成果と思います。10年は通過点であります。これから希望あふれる未来に向けて、更なる合唱の美しいハーモニーを求めひとりひとりの課題に精進できればと思います。演奏会後には新しいメンバーも加わりました。あんだぁれ70が益々成長できるように頑張りましょう。

あんだぁれ70

10周年記念演奏会

日時:2022年5月15日　　会場:四日市市文化会館第2ホール

石若先生からのメッセージ

作曲家　石若雅弥先生

あんだぁれ70さんの10周年記念演奏会に参加させていただき、あらためて感謝申し上げます。

コロナ禍で練習や本番さえも無事迎えられるのかわからないままでのスタート。その事を考えると、マスクがなければコロナ前とは変わらないような大大大成功の演奏会になったのではないでしょうか！

「合唱はつらいよ」では、初回練習では不安があったものの、振り付けなどの演出も加えられてすばらしい「初演」になりました。あとで動画見ましたが舞台照明なども凄かったですね。

そして今回僕の代表作の１つでもある「ひとつの歌にも」を演奏できたのも嬉しかったです。それぞれ特色ある４曲を、たくさんのワンステージメンバーの皆様と演奏できたこと、運営の皆様のご苦労もあったことと思いますが、ありがとうございました。本番を終えてみると「４曲目もできたかも？」というのがやや心残りではあります（笑）

全体を通しても、コロナを忘れさせてくれるような華やかな舞台、「10周年」という記念演奏会にご一緒できたこと、本当に感謝申し上げます。

またお会いできるのを楽しみにしております！

ワンステージメンバー

テノール　寺久保　敏

ワンステージだけなら何とかなるかな。最初はそんな軽い気持ちで参加させて貰ったのですが、終わってみればアンコールを含めて3つのステージで歌っていました。追加でお誘い頂いた楽曲が興味あるものだった事と、練習を続けていく内にどんどん楽しくなってきたので、のめり込んでしまいました。正式入団してから早1カ月が経過しましたが、日頃の練習会がとても楽しく毎回楽しみです。末永く続けていければ良いなと思っています。

バス　山崎冬樹

- ワンステージメンバーとして10周年記念演奏会で歌った感想
  一回だけと申し込んだのが、いざ練習を重ねてあのように盛大な本番のステージに立つと、もっともっと歌いたいと思いました。
- あんだぁれに入団しての感想と今後の抱負
  コロナ禍で3年歌う事を止めていましたが、「いいところ」を見ぃ～つけたって感じです。上手く気持ちよく歌える様になりたい。
- 私の暗譜術
  ほぼ楽譜の読めない僕は、ただただ練習音源を聴いて歌って摺り込みます。

10周年記念演奏会団員感想

アルト

久保照美

創立10周年記念演奏会に出席させていただき、誠にありがとうございました。

コロナ禍の中でもあり、色々と注意を払いながらの練習でした。そんな中でも気持ちは充実し前向きに楽しく頑張りました。とても思い出に残る日々になりました。

本番のステージはあふれんばかりの思いの声々が一つになり、とてもとても感動的でした。

ありがとうございました。

テノール

服部八州宏

コロナ禍中、練習日程の調整に、関係者方が苦労された公演が、成功のうちに終えられたこと、おめでとうございます。石若雅弥先生指揮のワンステージメンバー、特別出演の三重大学合唱団との共演は、新鮮な緊張感を味わった時間で印象に残りました。『合唱はつらいよ』の唄の数々は、昭和年代のサラリーマン生活を思い出し、楽しかったです。

体調として息苦しさ、腰膝痛に耐え、やっと立ち姿で終えられたこと、皆様のお心遣いに、心から感謝します。

ソプラノ

井上　絹子

入団して9か月で創立十周年記念コンサートに参加できて、本当に幸せでした。特に、石若先生がパーカッションで加わってくださったことで、「コーラスがこんなに楽しくなる」と驚かされました。

暗譜には苦労しましたが、繰り返し歌うしかないと思い練習しました。

いつまでも三十五歳の馬場先生、コーチの方々、そして団員の皆様と共に、素晴らしいコーラスが続けられますよう、頑張ります。

アルト

永田智子

「合唱団」を維持していけるのだろうか？

すべての練習がストップした2年前、合唱に限らず多くの音楽団体がこの問題に直面しました。

あんだぁれは早い段階で、グループラインによる団員の交流の場を作ったり、zoom を利用した練習を試みたりと、かなり健闘したのではないかと思います。

オンライン練習では、個々の練習の進捗具合がはっきりわかってしまうため、非常に緊張感も漂いました。頑張って予習して練習に臨んだ方も多く、また、ありがたいことに一対一で先生やコーチに指導していただけ、合唱を構成するひとりひとりを意識するよい機会となったと思います。

2年ぶりの観客の前での演奏は、やっと当たり前のことができるようになり始めたと、コロナ禍の長いトンネルの出口の光明を感じるとともに、この2年間乗り越えてきた様々なことに思いを馳せる機会ともなりました。

今考えると、困難をプラスに変えられたことがいくつもあったと思います。これからも困難を成長のばねに変えられる合唱団であり続けられたらと思います。

10周年記念演奏会団員感想次ページにつづく

テノール　古田良幸

私が合唱団あんだぁれに入団したのは、10周年記念公演の6ヶ月前のことです。S・Hさんに「歌を歌いたい」と声をおかけしたところ「あんだぁれにおいで」ということで何も考える事無く入団させて頂きました。

15曲もの楽譜を渡されるとは思いませんでした。練習音源を録音できたのは１月になってからで、毎日練習したのですが難しくこれでは無理かと思っていました。更に「男はつらいよ」の寅さん役でした。歌を覚えることも大変でしたが「私、生まれも育ちも葛飾柴又です云々」のセリフを滑らかに口に出すことが出来なくて本番までドキドキでしたが、皆様の励ましで楽しく出来ました。衣装では帽子、腹巻、ジャケット、鞄等皆様のご支援本当にありがとうございました。結構格好いい寅さんだったと思っています。記念公演の前には声が出ない、音程が合わなくて顔が固かったのですが、終了後は声も出るようになりました。末永く団員の皆様と声を合わせ合唱を楽しみたいと思っています。

NO　SONG　IS　NO　LIFE

ソプラノ　河戸　満代

コロナの影響が残る中、無事にコンサートが開催できた事は、大変喜ばしい事でした。また、石若先生の指揮はもちろんの事、打楽器も効果的で、いい経験ができて、感動しました。

暗譜に関しては、今回完全に出来なかったのですが、楽譜を見ると注意が逸れてしまうため、必要性を痛感しました。早く覚えるためには、歌詞を書いて、音読するのがいいと考えますので、次回の演奏会は、必ず暗譜で臨みたいです。

力を出し合って作り上げた演奏会

副代表　木村哲美

10周年記念演奏会に木村とPRチームは三つの命題に取り組みました。まず演奏会タイトル及びサブタイトルの募集。団員みんなの思いを募集して決める事にしPRチームと共に募集を開始、line投票での結果を参考に音楽監督に『10年の軌跡～郷愁・祈り・そして希望あふれる未来へ』を決めて頂く事が出来ました。

二つ目がチラシ作成。木村と川島デザイナー、馬場音楽監督のトライアングルで、チラシ記載情報送信、川島デザイナーから原案送信、音楽監督及びPRチーム、運営委員会のチェック、校正を繰り返してチラシが完成しました。

三つ目がプログラム作成。これもトライアングルで基本設計、校正、チェック、校正を繰り返し、ゴールデンウィークを挟んで演奏会2週間前に完成しました。

作業は一人でやればもっと短時間で出来たと思いますが、「早く行きたければ一人で行け、遠くへ行きたければみんなで行け」の言葉通り、多くの団員の力を借りる事でより遠くへ行くことが出来ました。「10年偉大なり、20年恐るべし」と言われます。10周年記念演奏会がコロナ禍の中でも大成功を収められたのは、音楽監督、代表そして団員の皆様の一致団結のおかげさまです。プログラムノート、10年の足跡、10年の写真提供にご協力ありがとうございました。

【今後の予定】

2022.9.29(木)
秋フェスタ
2022.11.23(水・祝)
四日市市合唱祭
2022.12.25(日)
四日市の第九
2023. 7.23(日)
あんだぁれ70演奏会

団員の動向(2022.3.1以降)　2022.7.1現在　団員数 63 名　うち休団中9名
【入団】S福井朋美　T寺久保敏　T舩本賢二　B山崎冬樹　【復団】牧野千枝子
【休団中】S緒方悦子　S夏目昌子　S鷲野美代子　S白村亜紀　A亀井由美子
T柴田孝之　T井上俊也　B西田正　B氷見幸也(団友)
【退団】　S市野育恵　A加藤千景

編集後記

10周年記念公演は、これまでの集大成とも言うべき充実した内容で、馬場先生の卓越したリーダーシップのもと、盛況裏に終演しました。そして、本記念号には多くの感動の寄稿を頂きました。ありがとうございました。(編集部:小泉)